# 類似談話辞 "speaking of X" と "when it comes to X" の用法について

---辞書の記述と映像メディアを例に---

横山仁視

## 0. はじめに

筆者は、日本語を母語とする英語学習者にとって類似する慣用的な表現とその使用が紛らわしい表現として、第64号では speaking of X を、第65においては when it comes to X の談話辞(Discourse Particles)を考察した。主にそれぞれの用法の違いを、定評のある学習英和辞典、英英辞典、文法書からの記述例を、また、メディア英語とコーパスのコンコーダンスラインから共起例を示した。Hunston(2002)は特定な英語表現が正用法なのか誤法なのかについては英語教員や文法書の補助が重要であることを指摘している。このことは、英語教員が英語母語話者であろうが第二言語として広く活用していようが、文法書・辞書・汎用型コーパスのコンコーダンスラインを読みこなす総合的な英語力を持ち合わせており、自信を持って指導できる前提でもあることにもつながる。

日本人英語学習者にとって学習英和辞典と映像メディアやコーパスを活用することは、学習者が自信を持って英語を使えることの拠り所となるもの言っても過言ではないだろう。学習英和辞典を例に挙げると、(1)のような傾向にある。

(1) 学習英和辞典の種類および版にもよるが、従来定評のある『ウィズダム 英和辞典』(三省堂) や『ジーニアス英和辞典』では語法の記述を重視

しており、レーベル(辞書の語義などの前に付ける用法指示;(》  $\|\cdot\|$  ( $\|\cdot\|$ ) ( $\|\cdot\|$ ) ( $\|\cdot\|$ ) を活用し用法に注意を向けている。また、  $\|\cdot\|$  ( $\|\cdot\|$ ) では、COMMUNICATIVE EXPRESSIONS(会話・議論の提携表現)、PLANET BOARD(ネイティブ100人に聞く文法・語法コラム)、NAVI 表現(文章を組み立てる際に重要な役割を果たす単語・フレーズ・定型的な文に注意を促す)など「発信に役立つ」を前提に語法( $(\bullet)$ ) やコミュニケーション情報 ( $(\bullet)$ ) の記述を充実させている。

また、メディア英語やコーパスでは(2)のように文脈・対人関係を視覚的に理解することできることと頻度やコロケーションを把握できることが大きな利点である。

(2) 映画、YouTube、海外のドラマ、TED talks、英字新聞などのメディア英語をはじめ、「映語犬サク」、TCSE: Ted Corpus Search Engine、COCA (The Corpus of Contemporary American English) などの検索エンジンなどが多数汎用している。

本稿では特に先行文脈との関連性において、これら二つの類似した談話辞の 用法について、1)話題転換、2)新情報と旧情報の視点から用法の違いを明らか にすることを目的とする。

# 1. speaking of X と when it comes to X の学習英和辞典の記述と考察

## 1.1. speaking of X の記述

日本人英語学習者にとって定評のある5つの学習英和辞典の記述を(表1) に再掲する。

(表1) speaking of X の学習英和辞典の記述

ウィズダム英和辞典 <sup>3</sup> ( <i>WISDOM</i> <sup>3</sup> )	[(まれ)] about A [話題の導入] (話) (既出の内容に関連させて新しい話題を導入して) A と言えば((1)文頭で. (2) A は名/動名) <i>Speaking of</i> the report, when is the deadline?
ジーニアス英和辞典 <sup>5</sup> ( <i>GENIUS</i> <sup>5</sup> )	[about] O (主に米)のことだが、と言え ば
オーレックス英和辞典 <sup>2</sup> (O-LEX <sup>2</sup> )	Speaking of dates, are you still seeing her? NAVI デートといえば、まだ彼女と付き合っているの? (●「そういえば」というニュアンスで話題を変えるときなどに用いる⇒NAVI表現11) NAVI表現11. 話題の転換・回避会話では、話の流れによって話題が頻繁に入れ替わることがある。話題の転換点を表す表現に着目すると、話の流れをしっかりとつかむことができ、円滑なコミュニケーションを実現することができる。場面に応じて以下のような、「さまざまな形式の表現が用いられる。Speaking of your brother, is he still living with you? 君の弟といえば、まだ一緒に住んでいるの? (●口語表現、話題に上がったことに関して詳細に立ち入る)
ライトハウス英和辞典 <sup>6</sup> ( <i>LIGHTHOUSE</i> <sup>6</sup> )	の話と言えば: <i>Speaking of</i> baseball, which team do you think will win the pennant?
プログレッシブ英和中辞典 <sup>5</sup> ( <i>PROGRESSIVE</i> <sup>5</sup> )	A と言えば

# 1.2. speaking of X の考察

談話における機能面を以下の7点に要約できる。

- a. (〈だけて)、(口)、(略式)のレーベル表示に違いはあるものの話し言葉であること。
- b. XにはNPまたは動名詞が共起すること。
- c. WISDOM<sup>3</sup>および O-LEX<sup>2</sup>の記述から明らかのように、話題の導入として 既出の内容に関連させて [話題に上がったことに関して詳細に] 新しい話 題を導入する機能を持っていること。この点について Rodman (1974:

- 443)は既出の要素を話題として取り立てる際に使用されるとして(1)を示している。
- (1) <u>Speaking of</u> Sarah Bernstein, many boys would like to kiss her. (斜字、下線、太字は筆者)
- d. c.の既出の内容に関連させて[前提として]いる点で、主節より前に位置する。
- e. *WISDOM*<sup>3</sup>は前置詞 about と共起することはまれであるとしているが、 *GENIUS*<sup>5</sup>では about のみを記載し of についての記述がない。
- f. 特に O-LEX<sup>2</sup>にあるように、話し [情報] の流れをよく理解し円滑なコミュニケーション活動を行うとしており、学習指導要領の「実践的コミュニケーション能力」の育成を前提としている学習英和辞典の特徴を示している。
- g. GENIUS<sup>5</sup>および PROGRESSIVE<sup>5</sup>では談話における記述がなく、日本人英語学習者にとっては用法が分かりづらい記述ともいえる。

#### 1.3. when it comes to X の記述

日本人英語学習者にとって定評のある5つの学習英和辞典の記述を(表2) に再掲する。

## (表 2) when it comes to X の学習英和辞典の記述

ウィズダム英和辞典 <sup>®</sup> ( <i>WISDOM</i> ®)	when it comes to A (くだけて) A のこととなると、A に関しては; A を処理するとなると( いづれも A は 名動名):過去の文脈では came を用いる)  ▶ The law already has age limits when it comes to tobacco and alcohol. タバコとアルコールについてはすでに法律で年齢制限がある
ジーニアス英和辞典 <sup>®</sup> ( <i>GENIUS</i> <sup>®</sup> )	when it comes to O [doing] O [すること] となると // The committee is divided in opinion when it comes to this problem [putting the plan into practice]. この問題 [その計画を実行に移す] となると、委員会は意見が分かれている.

オーレックス英和辞典 <sup>2</sup> (O-LEX <sup>2</sup> )	when it comes to (口)のこととなると; <する>段になると $< doing>$ ( $\spadesuit$ まれに when it comes down toともいう)// When it $\sim$ s to modern jazz, Bill knows everything. モダンジャズのことなら、ビルは何でも知っている / We must be very careful when it $\sim$ s to buying a house. 家の購入に当たっては十分注意しなければならない.
ライトハウス英和辞典 <sup>6</sup> ( <i>LIGHTHOUSE</i> <sup>6</sup> )	When it comes to (略式) (のこと) となると: When it comes to earning a living, you often have to do things you don't like. 食べていくとなると, 往々にしてしたくないこともせねばならない.
プログレッシブ英和中辞典 <sup>5</sup> ( <i>PROGRESSIVE</i> <sup>5</sup> )	when it comes to $A$ (略式) $A$ の問題になると.

## 1.4. when it comes to X の考察

談話における機能面を以下の5点に要約できる。

- a. speaking of X と同様に、((くだけて)、((口))、(略式) のレーベル表示に違いはあるものの話し言葉であること。
- b. speaking of X と同様に、X には NP または動名詞が共起すること。
- c. speaking of X とは異なり、先行文脈との関連性における用法記述がなく 例文のみで判断すると、主節と従属節が前後に入れ替え可能である。
- d. speaking of X とは異なり、特に O- $LEX^2$ に記述されているようなコミュニケーションの特徴に関する記述がない。
- e. speaking of X と同様に、*PROGRESSIVE*<sup>5</sup>では談話における記述がなく、 日本人英語学習者にとっては用法が分かりづらい記述ともいえる。

# 2. 学習参考書における類似した談話辞(Discourse Particles)の記述

ここでは、赤野 [監修] (2014)と中村・山岡・柏野 (2017)の取り上げ、学 習参考書ではこれら二つの談話辞がどのように扱われているかを確認する。

#### 2.1. 慣用的な独立分詞構文

赤野 [監修] (2014)は、「独立分詞構文の中には、慣用的に用いられるため 意味上の主語を明示せずに使われるものがある。このような独立分詞構文は 「分詞上の主語が we、you、they など一般の人々」という特徴をもつ。」」(pp. 263-264)として(2)と(3)を例に挙げている。

(2) **Generally speaking**, Japanese people are hard-working.

(斜字、下線、太字は筆者)

- (3) <u>Speaking of traveling</u>, did you go anywhere during the summer vacation? (斜字、下線、太字は筆者) 中村・山岡・柏野(2017)も同様に、「文の主語と異なるのに分詞の意味上の主語を示さない独立分詞構文もある。厳密に言えば、これらの分詞の意味上の主語は、「話し手」を示す I や「一般の人々」を表す you や we、they などと考えられるが、これらは慣用的に示されない。」(pp.247-248) として(4)を示している。
  - (4) <u>Talking of sports</u>, do you still enjoy jogging every morning? (斜字、下線、太字は筆者)

## 2.2. 動名詞を使った重要表現

中村・山岡・柏野 (2017)は、when it comes to X について、「動名詞を使った重要表現」 (223-224) の項目で、特に誤って不定詞を使いがちな表現には注意が必要な表現としての記述にとどめている。

# 3. 英英辞典の記述と考察

ここでは、談話情報が示されている例文のみを列挙し、1.1.および1.3.で表記した英和辞典での記述にいかに反映されているかを確認する。また、ここでは、本体のロングマン英英辞典に記載されている例文が異なる場合があるため、LONGMAN English-Japanese Dictionary を含めることにする。

## 3.1. speaking of X の記述と例文

(5) speaking of sb/sth SPOKEN used when you want to say more about someone or something that has just mentioned: **Speaking of birthdays**, don't you have one coming up?

(破線、下線、太字は筆者) (LAAD<sup>3</sup>)

(6) Speaking of sb/sth ((話)) (話を継いで)<…>といえば:<u>Speaking</u> <u>of</u> birthdays, when's yours?

(破線、下線、太字は筆者) (LONGMAN English-Japanese Dictionary)

(7) PHRASE You can say speaking of something that has just been mentioned as a way of introducing a new topic which has some connection with that thing. ☐ [+of] There's plenty of time to drop hints for Christmas presents! And speaking of presents, we have 100 exclusive fragrance collections to give away.

(破線、下線、太字は筆者) (COBUILD7)

#### 3.2. 考察

破線を引いた情報から、「既に話題に上ったことに対して新たな情報を追加する」という  $WISDOM^3$ および  $O\text{-}LEX^2$ の記載情報と一致する。つまり、旧情報である X を前提に新情報としての主節が導入されている。また、既出の内容に関連させて [前提として] いる点で、主節より前に位置しなければならないことも確認できる。さらに、 $COBUILD^7$ では例文に先行文脈が示されていることから、既出の内容に関連させて新しい話題を導入する機能を持っていることが確認できる。

## 3.3. when it comes to X の記述と例文

- (8) when it comes to sth *informal* when you are dealing with something or talking about something: He's a bit of an expert when it comes to computers. (破線、下線、太字は筆者) (LDOCE<sup>5</sup>)
- (9) when it comes to sth INFORMAL a) relating to a particular subject: I can use a computer, but when it comes to repairing them

I don't know a thing. b) when you are dealing with something:

When it comes to relationships, every-everyone makes mistakes.

(破線、下線、太字は筆者) (LAAD<sup>3</sup>)

(10) when it comes to sth INFORMAL relating to a particular subject: When it comes to relationships, everyone makes mistakes.

(破線、下線、太字は筆者) (LDOCE<sup>5</sup>)

## 3.4. 考察

破線を引いた情報から、「既に話題に上ったことに対して新たな情報を追加する」という機能ではなく、Xという新たな話題(転換)を前提に新情報としての主節が導入されている。この場合、新情報は when it comes to Xの前後に位置することが可能であることが読みとれ、speaking of Xとは異なる用法上の大きな違いである。

# 4. 映像メディア (映画) の共起例と考察

言うまでもなく映画は、1) "professionally well-calculated authentic conversational data/materials" (事前に用意周到に書き下ろされた無駄のないセリフ) の視点、2) 談話・場面・対人関係・声の抑揚・顔の表情などバーバルな面からノン・バーバルの面まで円滑な対人コミュニケーションを行う [成立させる] 際に必要な情報が多分に盛り込まれた身近な教材であることに異論はないだろう。ここでは、二つの談話辞が典型的に使われている共起例を示す。

# 4.1. speaking of X の共起例

(11) JANE: Yeah. Never mind. It's not really your thing. So, um, how long you stayin' for?

TESS: Um, a week or two 'cause the fall fashion shows are done, so I don't have much work.

JANE: Oh, *speaking of* work, I am meeting up with some people from the office tonight for a party. You wanna come?

- TESS: Actually, I'm having drinks with some friends from Millan.

  (斜字、下線、太字は筆者) (27 Dresses)
- (12) CHANDLLER: Y'know what the worse part was? I got to see what my life would be like without you. It was like It's a Wonderful Life with lap dances. Please promise that you will never leave me, that we will grow old together, and be with each other for the rest of our lives.
  - MONICA: I promise. Hey, *speaking of* together, how about we send out a holiday card this year?

(斜字、下線、太字は筆者) (Friends, Season 8)

- (13) CHUCK: And they go from that to the new hub up in Anchorage.

  It's a perfect marriage between technology and systems management.
  - MORGAN: <u>Speaking of</u> marriage, Chuck, when are you gonna make an honest woman out of Kelly here?

CHUCK: There it is! (斜字、下線、太字は筆者) (Cast Away)

## 4.2. 考察

1.2.および3.2.に記したように、学習英和辞典および英英辞典の記載情報と一致する。つまり、「既に話題に上った話題に対して新たな情報を付け加える」という旧情報 X を前提に新情報の主節が付加され、会話の構成員である話し手と聴き手の双方の協力があって会話の流れ [方向性] を作り出している。また、3.1.0(7)の  $COBUILD^7$ の例文に先行文脈が示されていることと同じく、映画のセリフは本来持っている談話の機能、つまり、既出の内容に関連させて新しい話題を導入する機能を持っていることを証明している。この点において、Grice(1975)の会話の公理(Conversational Maxims)の一つである関係の公理(Maxim of Relation)を順守している。また、Schourup・和井田(1989)では、speaking of X と類似した表現 by the way との違いについて次のように述べている。

「SPEAKING OF (TALKING ABOUT)は「それまで論じられていた話題からそれて、新しい話題を導入する」という点では BY THE WAY と同じである。しかし、BY THE WAY とはちがって、SPEAKING OF (TALKING ABOUT)によって新しく導入された話題は、会話の中などで「実際に誰かの口に上がったもの」でなければならない。……常に文頭の位置を占める。」 (下線は筆者) (pp. 61-62)

#### 4.3. when it comes to X の共起例

(14) EXT. FAIRGROUNDS — DAY — An obese woman waits in line.

MORGAN: When it comes to the topic of obesity, many people are quick to point the finger at various foods and food companies. But the Grocery Manufacturers of America, a Washington D.C. based lobby group whose mission is to advance the interests of the food, beverage and consumer products industry, are quick to shift the focus away from the companies they represent, and to remind everyone that there's more at work here than just eating poorly.

(斜字、下線、太字は筆者) (Super Size Me, 2004)

(15) GAVIN: Bye. I recently married. Which is the last thing I ever thought I'd do after what happened to the Roses. When it comes to women... I hope I'm a better man now than I was. I know I'm a better lawyer when it comes to divorce. I'll never make another mistake like I made with Oliver. Let's just concentrate on the job at hand.

(斜字、下線、太字は筆者) (The War of the Roses, 1989)

#### 4.4. 考察

1.3.の学習英和辞典の記述、3.3.の英英辞典を受け3.4.の考察にあるように、下線を引いた談話辞の文脈から、「既に話題に上ったことに対して新たな情報を追加する」という機能ではなく、Xという新たな話題(転換)を前提に新

類似談話辞 "speaking of X" と "when it comes to X" の用法について

情報としての主節が導入されている。また、新情報は when it comes to X の 前あるいは後の双方に位置することが可能であることがわかる。

# 5. 映像メディア(ニュースメディアと TED talks)の共起例と考察

4.と同じく、一文より長いまとまりを持つ話しことばや書き言葉の集合である談話という観点からすれば、ニュースメディアや TED talks のプレゼンテーション原稿は、ある語彙・表現(本稿では談話辞)が実際に使用されている場面・状況を明確に表しているといえる。ここでは、典型的に使用されている例をそれぞれのソースから一例ずつ示す。

## 5.1. The Japan Times online の共起例

(16) For those who want to pack in as much as possible, there is always the chance to try out a zip-line adventure or a helicopter ride around the island. Or if you're more of a water baby than an aerial adrenaline-seeker, there is jet-skiing, kayaking, snorkeling and mountain tubing. Never heard of mountain tubing? I hadn't either, but its you're your chance to float down the island's waterways they take you through tunnel after tunnel. <a href="Speaking of the outdoors">Speaking of the outdoors</a>, no matter what the purpose of your trip, you can't go to Kauai without visiting Wailua Falls— and it helps that this landmark is easily accessible by car. Made famous when it was featured in the 1970s television show "Fantasy Island," the best time to view this magnificent cascade is in the morning, when the sun shines on the water.

(斜字、下線、太字、囲みは筆者)

(Originally from "A postcard from Kauai's South Pacific paradise," *The Japan Times online*, May 6, 2012)

#### 5.2. TED talks の共起例

(17) Now this is what many introverts do, and it's our loss for sure, but it is also our colleagues' loss and our communities' loss. And at the risk of sounding grandiose, it is the world's loss. Because when it comes to creativity and to leadership, we need introverts doing what they do best. A third to a half of the population are introverts — a third to a half. So that's one out of every two (斜字、下線、太字、囲みは筆者) or three people you know. (https://www.ted.com/talks/susan\_cain\_the\_power\_of\_introverts/

transcript?language=en)

## 5.3. The Japan Times online および TED Talks の考察

既に上述したように、1.3.の学習英和辞典の記述および3.3.の英英辞典の記 述を受けた3.4.の考察は、いずれも映像メディア(映画)の4.4.の考察と同じ であり、ニュースメディアおよび TED talks の共起例によってその用法の記 述は支持されていることを確認できる。しかし(16)の例は、4.2.に述べた speaking of XのXに該当する条件である「実際に誰かの口に上がったもの」 とは少し異なった振る舞いを見せている事例である。倉田(2013)は、Xに くる内容は必ずしも既に話題に上がったそのものに限らず包括的に言及する語 彙も使用される事例であるとして次のように主張している。

「先行文脈の語句をピンポイントな形式で前方照応してはいないが、太字 下線が示すようにカウアイ島での空からの観光やウォータースポーツ等の アウトドアの情報を包括的に言及している。……「ワイルアの滝」の話題 に展開していることが読み取れる。」(p. 155)

この点について山内(2015)はXの使用条件として既出要素を総称化した要 素として言及している。

## 6. おわりに

本稿は、日本人英語学習者にとってお互いに類似している慣用的な表現 "speaking of X" と "when it comes to X" の用法の振る舞いについて、第 64号と第65号の知見を基に、話題転換と情報の流れの視点から考察した。これら二つの談話辞は、一般的に「……について」「……に関して」「……と言えば」などの和訳が与えられており、この点他にも "talking of [about] X"、 "regarding X"、 "as to [for] X"、 "concerning X" など類似した慣用的英語表現が存在することから、これらの用法の違いを理解するうえで一層難しくさせている。本稿では特に話題転換と新情報・旧情報の視点から、学習英和辞典および英英辞典の記述が映像メディア(映画、ニュースメディア、TED talks)の共起例によって支持されていることを明らかにした。また、学習和英辞典の記述についても検討が待たれることを付しておきたい」。

#### 注

- 1)『ウィズダム和英辞典』第2版の見出し語「はなし」の③『話題』において次の例を挙げ、二つの談話辞を併記している。
  - ▶旅行の話といえば、ロンドンに行ったことがありますか *Talking* [*Speaking*] *of* travel, have you ever been to London? (通例文頭で)
  - ▶ワインの話となると彼はまあよくしゃべること *When it comes to* wine, he never stops talking.

#### 謝辞

本研究のきっかけをご提供していただいた倉田誠先生(京都外国語大学)に貴重な助言及び共起例の資料提供をいただきました。この場をお借りして深く感謝します。また、John Cambell-Larsen 先生(京都女子大学)にはインフォーマント調査にご協力いただき貴重なご意見を提供していただきました。改めてお二人の先生方に深く感謝いたします。

## 主要参考文献

赤野一郎(監修)2014『総合英語 able』第2版、第一学習社、

- Biber. D., Johansson, S., Leech, G., Conrad, S., Finegan, E. (1999) *Longman GRAMMAR of SPOKEN and WRITTEN ENGLISH*. UK: Pearson.
- Grice, H. P. (1975) "Logic and Conversation." In Peter Cole and Jerry L. Morgan eds, *Syntax and Semantics* 3, 41-58. NY: Academic Press.
- 早瀬尚子(2014)「Speaking of which: 懸垂分詞構文由来の談話標識化について」 『大阪大学英文研究』第38巻、59-69.
- Hunston, S. (2002). *Corpora in applied linguistics*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kurata, M. Ed. (2011) English Linguistics Through Movies. Tokyo: Kuroshio Publishing Co.
- 倉田誠(2013)「談話辞 speaking of Aの機能と用法を再考する」井村誠・倉田誠・藤枝善之・松田早恵・横山仁視(編)『映画英語教育学会西日本支部設立10周年記念論文集』153-160. 映画英語教育学会西日本支部.
- 中邑光男、山岡憲史、柏野健次(2017)『ジーニアス総合英語』、大修館書店.
- Rodman, R. (1974) "On Left Dislocation." Papers in Linguistics 7, 437-466.
- Schourup, L.、和井田 N. (1987) English Connectives. 東京:くろしお出版.
- Swan, M. (2016) *Practical English Usage*, Fourth Edition. UK: Oxford University Press.
- 内田聖二[編] (2009) 『英語談話表現辞典』、三省堂.
- 内田聖二 (2010)「つなぎ語:新しい話題の導入―『英語談話表現辞典』覚え書き (20)」三省堂ワードワイズ・ウェブ (http://dictionary.sanseidopubl,co.jp/wp/).
- 山内昇 (2015)「Speaking of の使用条件に関する記述的考察」『英語語法文法研究』第22号、183-199.

#### (本稿の執筆者の先行発表)

- Kurata, M.,& Yokoyama, H.(2014) "The function and usage of *Speaking of A*" Power-point handouts from the ATEM Hokkaido Chapter 3rd Annual Conference at Otaru University of Commerce.
- Yokoyama, H. (2013) "Some Interesting Behaviors of Discourse particles in Movies" Power-point handouts from the ATEM 2013–19th Annual Conference at Sagami Women's University.
- Yokoyama, H. (2014) "What Do We Know about the Discourse Particle *Speaking of A*—How Do We Use It?" Power-point handouts from the The 18<sup>th</sup> STEM International Conference at Ulsan Educational Training Institute, Korea.

- Yokoyama, H. (2015) "Exploring the Usage of *when it comes to A*: Comparing with *speaking of A*, Power-point handouts from the The 17th STEM International Conference at Korea Nazarene University, Korea.
- Yokoyama, H. (2015) Usage on *when it comes to A*, Power-point handouts from The 6th English Linguistics Workshop on Movie English, Kyoto University of Foreign Studies.
- Yokoyama, H. (2016) Some Notes on Discourse Particle "Speaking of X", in *Journal of Humanities*, No. 64, Association of Humanities, Kyoto Women's University.
- Yokoyama, H. (2017) Some Notes on Discourse Particle "when it comes to X," in *Journal of Humanities*, No. 65, Association of Humanities, Kyoto Women's University.

(学習英和・和英辞典)

ウィズダム英和辞典3 (2013)

ウィズダム英和辞典4 (2019)

ウィズダム和英辞典2(2013)

オーレックス英和辞典2 (2013)

ジーニアス英和辞典5 (2015)

プログレッシブ英和中辞典5 (2012)

ライトハウス英和辞典6 (2012)

#### (英英辞典)

LONGMAN Advanced American Dictionary. 3rd ed. 2009. (LAAD3)

Longman Dictionary of Contemporary English. 5th ed. 2009. (LDOCE<sup>5</sup>)

Longman Dictionary of Contemporary English. 6th ed. 2014. (LDOCE<sup>6</sup>)

Longman English-Japanese Dictionary. 1st ed. 2006. Pearson Education/ Kirihara. (LEJD¹)

#### (映画)

Cast Away (2010)

Friends Season 8 (2001)

Super Size Me (2004)

27 Dresses (2008)

#### (ウェブサイト)

http://www.japantimes.co.jp/life/2012/05/06/travel/a-postcard-from-kauais-

south-pacific-paradise/#.Uzk8F3-KBdg (The Japan Times Online) https://www.ted.com/talks/susan\_cain\_the\_power\_of\_introverts/transcript? language=en (TED talks)